

2013. 9. 26

NPOフォーラム・だより No.55



NPO法人安房文化遺産フォーラム
代表 愛沢 伸雄

〒294-0036 千葉県館山市館山 95 小高記念館 TEL&FAX:0470-22-8271

Eメール awabunka@awa.or.jp 公式サイト <http://bunka-isan.awa.jp/> Blog 安房国再発見 <http://awabunka.wordpress.com/>
会員・寄付募集中！ ⇒ 郵便口座 00260-1-97307 名義:NPO法人安房文化遺産フォーラム

ウガンダ支援活動についてのご報告



1994年、私が世界史教員であった千葉県立安房南高校では平和学習を契機として、ボランティア委員会の生徒たちとともにウガンダ支援活動が始まりました。赤道直下のウガンダは「アフリカの宝石」と呼ばれる美しい国ですが、内戦の影響で孤児とエイズが蔓延していました。バザーや募金による生徒たちの支援は毎年続き、2000年には現地に職業自立訓練校が設立され、「アワミナミ洋裁学校」と名づけられました。

2006年からは「安房・平和のための美術展」が、チャリティ作品の売上や募金などを支援してくれています。2008年には安房南高校が統廃合となり、県立安房高校のJRC(青少年赤十字)部が引き継いできました。

2011年に安房高校卒業生の河辺智美さん(筑波大学大学院生)はウガンダを視察して以降は、NGOウガンダ意識向上財団(CUFI)の代表スチュアート・センパラ氏から届く月例の活動報告を、ブログ「安房南のウガンダ支援活動」にてレポートしています。 <http://awauganda.wordpress.com/>

この秋からは、私立安房西高校JRC部が支援活動に取り組むことになりました。また、かつて支援活動にたずさわり、今は子育て世代となっている安房南高校の卒業生たちもNPOに入会し、ウガンダ支援チーム「ひかりの」を改めて結成することになりました。

来年には、高校生を中心に続いてきた支援交流のあゆみを振り返り、20周年記念誌を発行し、センパラ氏をお迎えし交流したいと思います。ぜひ多くの皆様のご支援をお願いします。 愛沢 伸雄



■ ウガンダ支援バザー in 館山病院感謝祭

◎ 10月6日(日) 10:00~14:00 会場: 館山病院 P

創業122年を迎える館山病院では「秋の感謝祭」として、駐車場広場で音楽やエイサー、模擬店などが行われます。その一環として、当NPOではウガンダ支援バザーを行ないます。スタッフ募集!

ウガンダの子どもたちの描く絵は、かつては鉛筆描きで暗い戦闘シーンばかりでしたが、近年では上図のように明るい絵が届くようになりました。絵ハガキは1枚100円で販売します。

■ ヘリテージまちづくり講座 第3回目

佐倉の歴史文化を活かしたまちづくり視察バスツアー 【文化遺産を活かした地域活性化の文化庁事業】

◎ 10月22日(火) 館山8:30出発~17:30帰着予定 昼食・資料・保険代:1,200円

文化遺産・自然遺産を英語でヘリテージといいます。5回連続講座で開催中の第3回目は、佐倉城跡と旧城下町、佐倉連隊の戦跡を見学し、明治の呉服商の建物「旧駿河屋」で昼食のまちづくり懇談会を行ないます。第4回目は11月16日(土)、館山市内の歴史建物(赤門鈴木家住宅・紅屋商店)見学会の予定です。

■ 青木繁《海の幸》フェスタ ~ 富崎コミュニティのつどい

青木繁が愛した富崎の海と歴史文化を語る会 【文化遺産を活かした地域活性化の文化庁事業】

◎ 10月27日(日) 13:00~15:30 会場: 館山市立富崎小学校(休校中)

日本を代表する画家・青木繁が滞在し、重要文化財となった《海の幸》を描いた地として知られる布良は、近代水産業の先駆けとして栄えた漁村でした。今は少子高齢化が進み、小学校が統廃合により休校となってしまいましたが、地区住民が中心となって「青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会」を結成し、まちづくりを進めています。当NPOはその事務局を担っています。

近年、地域から多くの古文書や書画・写真などが発見され、注目されています。これらを展示して、富崎の歴史文化について語り合い、まちづくりを考えます。また、布良の海中調査を行なったダイバーの成田均さんには、かつての豊饒の海をよみがえらせる「海洋牧場」の可能性についてお話を伺います。

富崎地区コミュニティ委員会と共催で、午前中は地区住民のレク大会、お昼休みには野菜や弁当などの販売もあり、最後には富崎地区老人会による踊りも予定されています。乞う!ご期待。

*** 学徒出陣 70 周年記念・資料展示会**

10月5日(土)～10日(木)

主催: 手作り新聞「布良・相浜・神戸」(山口栄彦)
協力: NPO法人安房文化遺産フォーラム

*** 演劇「あとは野となれ山となれ」**

11月24日(日) 13:30～ 鋸南町中央公民館

主催: 鋸南町よい演劇を観る会(代表: 増岡鎧治)
出演: 竹下景子、宇梶剛士、岸田茜

◆ ツアーガイド&講演のスケジュール

… ガイド学習を兼ねて、見習いスタッフ募集中!

- 10月 2日(水) 11:30～16:00 東葛飾高校リベラルアーツ講座 24名＝座学
- 3日(木) 9:00～15:00 // =戦跡・布良(安房自然村名主の館)
- 10月 6日(日) 9:30～12:00 赤山ガイドサービス
- 10月11日(金) 9:00～16:00 渋谷幕張学園中学＝戦跡コース 40名/里見コース 21名/漁業コース 30名
- 10月16日(水) 10:30～15:30 千葉県生涯大学校外房学園 20名＝戦跡座学・基本・大巖院
- 10月16日(水) 16:40～17:20 わせがく高校 120名＝座学(館山シーサイドホテル)
- 17日(木) 9:15～11:30 // =赤山・掩体壕・米軍上陸地
- 10月20日(日) 10:30～15:30 コープみらい成田・青空の会 40名＝座学・赤山・かいた村
- 10月20日(日) 11:00～14:00 南総里見まつり＝城山公園芝生広場で紙芝居「八犬伝」披露
- 10月23日(水) 10:30～16:00 君津地方社会教育委員連絡協議会 25名＝座学・赤山・布良
- 10月25日(金) 10:30～15:30 鹿嶋九条の会 25名＝座学・戦跡基本
- 11月 3日(日) 9:30～12:00 赤山ガイドサービス
- 11月 6日(水) AM グッドスピードツアーズ 信用金庫友の会 30名＝赤山・米軍上陸地
- 11月 7日(木) AM // //
- 11月 9日(土) 9:30～15:30 高退教・高教組フォールドワーク 30名＝座学・大巖院・布良
- 11月10日(日) 10:00～16:00 千葉県金属九条の会 20名＝座学・戦跡基本・かいた村
- 11月11日(月)～12日(火) 横浜遺族の会 15名
- 11月19日(火) 千葉県曹洞宗人権研修 10名＝座学・赤山・大巖院・かいた村
- 11月20日(水) コープみらい・生協ピースの会 45名＝大巖院・布良

【Report】 韓国から文化まちづくり視察団 35 名来訪、交流!

韓国政府の外郭団体「韓国文化観光研究院」から、35 名が、地域資源を活かした観光まちづくりの視察に館山を訪れた。参加者は、各地の文化財団の実務者をはじめ官民の若者たちであった。通訳兼コーディネーターを務めたチヨン・イルジさん(神奈川大学助手)が東京大学大学院の都市工学研究科在学中、館山の文化財保存運動とまちづくりを調査対象として博士論文を書いたことが契機となって、大巖院のハングル「四面石塔」と青木繁ゆかりの漁村富崎を見学し、イルジさんが翻訳した韓国語の「館山まるごと博物館」パンフレットを配布した。

「四面石塔」は、古ハングル・インド梵字・中国篆字・和風漢字で「南無阿弥陀仏」と刻まれており、建立の 1624 年は朝鮮侵略から 33 回忌にあたることから、戦没者供養と世界平和祈願をこめたものと考えられている。同研究院国際交流センター長のイドンホン氏は、「日本にこのような石塔があることに驚いた。石塔にこめられた人びとの思いを語り継ぎ、広い交流を実践しているNPOの市民活動に感動した」と語った。

富崎では青木繁が滞在した小谷家住宅と布良崎神社を訪問し、青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会から、地元のテングサで作ったトコロテンが振る舞われた。参加者からは、「住民のおもてなしの心が素晴らしい。神話と日本人の信仰心や、神社の神輿がヒントとなって日本の重要な絵画が生まれたというストーリーが面白い」という感想があった。

